

カラマズー会 2025 年第 2 回理事会 議事録

日時・場所： 2025/4/8【火】 19:00- レストラン アラスカ築地店

出席理事：阿部仁、石井、石川、熊谷、小林、千谷、藤島、松井、安田

審議事項

1) 理事・名誉理事の推薦と承認

乾理事の退任及び名誉理事として推薦する提案があり、理事会にて承認された。

2) Grand Reunion 2025 (6/21 開催)準備状況

理事会開催に先立ち、理事全員で会場の下見を実施。使用機材やアクセス経路などを確認した。

阿部会長から、6 月 21 日（土）開催の Grand Reunion の準備について、次のとおり説明があった。

A) 各理事の担当（2025 年 1 月理事会決定の確認）

全体計画：熊谷理事

オークション運営：藤島理事、安田理事、山口理事

留学セミナー：阿部課長、阿部明理事

広報：小林理事、阿部明理事

当日 MC：石井理事

受付・会計：松井理事、千谷理事、石川理事

B) 当日のスケジュール（昨年と同様）

第 1 部：留学セミナー（12:30 受付開始、13:00～14:30）

第 2 部：レセプション（14:30 受付開始、15:00～17:00）

C) 各大学への案内

WMU と交流協定を持つ日本の大学には、本理事会以降、関係理事より順次連絡を入れる。

D) 情報発信強化策

GR 当日は、テーブル上に Instagram アカウントの QR コードを設置し、カラマズー会の情報発信を促進する。

E) 決済方法について

参加費やオークション品の支払いに PayPay の導入を検討したが、維持費の観点から 2025 年は見送りとする。

F) 関連ミーティング日程

GRAT ミーティング（藤島理事主導）：4 月 20 日（日）夜に開催予定

事前準備会議（オンライン）：6 月 16 日（月）夜に開催予定

※以上の内容について、全会一致で了承された。

3) WMU-K 会 Partnership を象徴するロゴデザインの検討

本件は、2025 年 1 月 11 日開催の理事会で決定された新しいロゴデザインの選定に関する進捗報告と検討を行った。

A) ロゴ作成の背景および経緯

新ロゴの作成に当たっては、昨年（2024 年）の GR 開催時に、WMU 国際部長等が来日した際、WMU とカラマズー会との長年にわたる関係性や今後、加わる若い世代にも双方の関係が分かる共通のものがあれば、タテ・ヨコの繋がりがより強化・発展するのではないかとの意見交換を踏まえ、協議の結果、新ロゴを作成することとなった。新ロゴのデザインは、当初会員に打診したところ、応募者が

いなかったため、阿部会長を通じて、YUKANO IDEA 社デザイナーの河野由佳氏に作成を依頼した。また、新ロゴ作成チーム（Kalamazoo-kai Logo Design Team、KLDT、藤島理事、阿部会長、熊谷理事、千谷理事、松井理事）と河野氏とのオンライン打合せを 2 回に行った。

B) 新ロゴの活用方法について

WMU 国際部長との意見交換の段階では、新ロゴを活用したグッズの作成が提案されていたが、作成コストや在庫管理の負担といった課題が指摘され、グッズ展開には慎重な意見が多く出された。そこで理事会では、ロゴに込めた本来の目的—「WMU と日本の交流の歴史と伝統を若い世代に伝えていくこと」—に立ち返り、動画、ホームページ、Grand Reunion などを通じたソフトな情報発信を重視する方針で合意した。

C) 交流開始時期の定義について

1962 年に慶應義塾大学から WMU への派遣プログラムが始まった年を、カラマズー会の原点（慶應の派遣留学生たちと WMU との交流の始まり）と位置づけ、「WMU × カラマズー会」の交流は“Since 1962”と表現することとした。

D) ロゴデザインの方向性について

カラマズー会単独ロゴ：湖に太陽が浮かぶイメージをモチーフとした 6 案の中から 1 案を選定する。WMU × カラマズー会のつながりロゴ：2 つの円が 8 の字に重なる形をモチーフとした 7 案の中から 1 案を選定する。

以 上